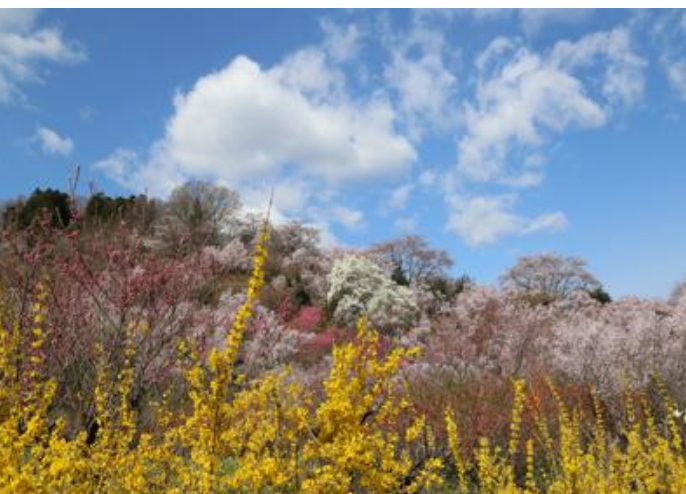




新たな復興創生ステージのスタート

令和3年度 当初予算(案)の概要



目次

I 政策の推進(令和3年度予算編成方針)

II 予算案の規模

III 令和3年度の主要施策

IV 将来にわたり持続可能な財政運営の推進(資料編)

【共創】

これまでの「協働」を基本としつつ、その考え方をさらに進化させ、市民、団体、企業、大学、地域、行政等が目標設定の段階から連携し、異なる視点や価値観のもと多方面から意見を出し合いながら解決策の検討を行い、実践的な取り組みを展開することにより、新たなまちの魅力や地域の価値を共に創り上げていくこと。

I 政策の推進(令和3年度予算編成方針)

東日本大震災から10年

新型コロナを克服し、市民との「共創」により新ステージへ

- ・新型コロナウイルス感染症対策に「スピード」と「実行」でしっかりと取り組み、課題に向き合い、感染拡大の防止と経済活動の両立を目指します。
- ・丸10年を迎える東日本大震災及び原子力災害の記憶と教訓を継承し、感謝の気持ちと合わせて発信し、この経験を活かしながら新しい復興・創生へのチャレンジを続けます。

・これらをつまみ、市民との良好な対話による『共創』を基本に、新しい総合計画のもと、福島市を将来に向けて夢が持てる新ステージへと飛躍させるため、施策・事業を確実にかつ迅速に実行する予算を編成しました。

3つの政策目標

1 ひと・暮らしいきいきふくしま

2 産業・まちに活力ふくしま

3 風格ある県都ふくしま



Ⅱ 予算案の規模

1. 令和3年度一般会計当初予算額

1,123億円

対前年比 $\Delta 47$ 億円 $\Delta 4.0\%$

世界にエールを送るまち ふくしま



2. 会計別の当初予算額

(単位:千円)

会計名	令和3年度	令和2年度	対前年度比較	
			増減額	増減率 (%)
一般会計	112,300,000	117,000,000	△4,700,000	△ 4.0
除染関連事業を除く 実質的な当初予算	108,084,000	106,671,800	1,412,200	1.3
国の第三次補正に呼応した 3月補正前倒し含む当初予算	110,462,936	109,205,365	1,257,571	1.2
特別会計	56,112,667	55,741,262	371,405	0.7
水道事業会計	10,471,515	11,249,611	△778,096	△ 6.9
下水道事業会計	12,840,855	12,503,387	337,468	2.7
農業集落排水事業会計	283,858	287,253	△3,395	△ 1.2
合計	192,008,895	196,781,513	△4,772,618	△ 2.4

特徴(一般会計)

除染関連事業費は42億1,600万円で、前年度に比べ40.8%と大幅に減少し、実質的な当初予算額は6年連続の増加となり、県都の新ステージへ向け本格始動する過去最高の積極型予算です。



Ⅲ 令和3年度の主要施策

当初予算の主な施策事業について紹介します。

- 新 ……新規事業
- 拡 ……一部新規及び事業の拡充

～10年先を見据えた 重点 プロジェクト～

1. 新型コロナ対策とコロナ後を見据えた変革

6. 安全安心なまちづくり

2. 子どもたちの未来へ

7. オリンピックパラリンピックと遺産の創出

3. 『エール』遺産を活用した
『古関裕而』のまちづくり

8. いきいきと暮らせる共生社会の形成

4. 風格ある『県都ふくしま』

9. 人生100年時代を見据えた健康づくり

5. まちのにぎわいと魅力ある産業の創出

10. 市政運営の新ステージ

1. 新型コロナ対策とコロナ後を見据えた変革

33事業 18億9,848万円

(1) 感染防止対策

- ・医療、ワクチン接種、ウイルス検査体制の充実を図ります。
- ・保育所・学校等での感染防止対策を充実します。

地域医療体制の充実

新 迅速な新型コロナワクチン接種 490,000千円
8月末接種完了を目標に、市の総力を挙げて（12・2月補正予算措置済）取り組みます。※ワクチン接種費用は、今後補正予算を計上します。

新 PCR検査体制の強化 138,823千円

新 発熱外来、新型コロナ診察医療機関への支援 116,072千円

- 発熱外来運営費用助成
- 帰国者接触者外来特別給付金 【発熱外来3病院】
- 医療再生支援金
- 輪番代替病院協力金
- 医療資材の調達支援



感染防止対策の支援

新 子育て支援施設 137,950千円

- 消毒用アルコールなど衛生用品の購入費用の支援
- 職員のメンタルヘルス支援、追加手当などのかかり増し経費

新 学校 76,806千円

- 消毒用アルコールなど衛生用品の購入（うち3月補正前倒し71,600）
- 校外活動実施に向けた対策

公共施設の感染防止対策

新 コロナ禍に対応できる避難所対策 20,000千円

(2) 市民生活支援

- ・新型コロナに関連する情報をわかりやすく広報します。
- ・妊産婦の支援体制を強化します。

拡 住居確保給付金 30,000千円

新 新型コロナ入院医療費公費負担 12,012千円

新 迅速かつ的確な情報発信 10,000千円

妊産婦に対する支援

新 妊婦PCR検査支援 22,000千円

新 オンライン・アウトリーチによる相談 4,977千円

(3) 地域経済対策

- ・中小企業の資金繰りや地域公共交通事業者の事業継続、中心市街地での新たな事業展開や、新型コロナに対応した活性化イベントを支援します。

○緊急経済対策資金融資制度利子補給 124,568千円

新 街なか空き店舗入居者家賃補助 70,900千円

新 街なか空き店舗出店支援事業 20,000千円

拡 商店街等活性化イベント支援事業 30,000千円

○地域公共交通支援事業 214,000千円

(4) コロナ後を見据えた変革

- ・コロナ禍で急速に進んだテレワークをはじめとする、時間・空間などにとらわれない柔軟な働き方、暮らし方の定着を目指します。
- ・コロナ後を見据え、新たなビジネスモデルの創出や他分野への進出など、改革改善のチャレンジを後押しします。
- ・時代の潮流を見据え人材を計画的に育成するとともに、ハンコレスや行政手続きのデジタル化、業務のデジタル化の取組を進めます。

新たな働き方・暮らし方の創出

新 クリエイティブビジネスサロン整備事業 73,500千円
(全額3月補正前倒し)

ポストコロナ時代を踏まえた新たなビジネススタイルを支援するため、コラッセふくしま2階の産業交流プラザをリニューアルし、クリエイティブな人材の集積を促進します。



新 オンライン配信ビジネス支援事業 5,000千円



ポストコロナ時代を見据え、本市産業のブランド力向上に資する学会やコンベンション等のオンライン配信の利用拡大を図るため、開催・動画作成費用等の一部を補助します。

新 「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援事業 14,800千円

新 ものづくりNEXTチャレンジ支援事業 10,000千円

○ 新たなビジネスモデル創出支援事業 30,000千円
(1月補正予算措置済)

○ ふくしま定住推進事業 2,016千円

市民サービスのデジタル化

新 公共施設予約システム導入 78,409千円

新 市民利用施設キャッシュレス券売機導入 4,720千円

新 電子町内会モデル事業 600千円

新 市民利用施設Wi-fi環境の整備 2,259千円

新 幼稚園、保育所、放課後児童クラブ、子育て支援拠点のICT導入 84,270千円

新 シェアサイクルの導入 9,801千円

新 窓口手数料のキャッシュレス化 3,804千円

新 相談業務のオンライン化 9,650千円

行政の変革

新 文書管理システムの導入 48,800千円

○ 会議のオンライン化 1,544千円

○ ICT人材の育成 1,200千円



(1)子育て支援の充実

・最重点課題である待機児童の解消、令和2年度から実施している子ども・子育て支援の新ステージ2020推進事業、新たに実施する結婚生活応援事業など、子どもや子育て世代に寄り添い、「子育てと教育なら福島市」と称されるまちを目指して独自の支援事業を進化させます。

待機児童の解消と子育て環境の整備

○待機児童対策推進パッケージ 198,741千円

(主なもの)

拡 保育士するなら福島市！プロモーション事業

■ 輝け！保育人材活躍促進事業

拡 保育士宿舍借り上げ支援事業

拡 保育支援員雇用支援事業

新 幼稚園送迎ステーション事業

■ UIターン保育士等就労支援事業

拡 保育士等奨学資金貸付事業

拡 保育アテンダント事業

拡 保育所等における事故防止推進事業



○保育施設の運営 8,233,642千円

拡 放課後児童クラブの運営 657,873千円
(R2:87クラブ ⇒ R3:91クラブ)

○子育て世代包括支援センター『えがお』事業 12,612千円

結婚するなら福島市へ

新 結婚新生活支援事業

43,650千円

結婚に伴う経済的負担を軽減するため、新婚世帯のスタートアップを支援します。

- ①マイホーム購入 30万円
- ②賃貸住宅スタートアップ 15万円
- ③家賃最大3年間 72万円(3年は市独自)



子ども・子育て新ステージ2020推進事業

○福島型給食推進事業

338,809千円

地産地消をより強く意識した給食や、子どもたちの思い出に残る給食を実施します。



拡 休日保育事業

10,008千円

○放課後児童クラブ支援員等処遇改善

151,421千円

○放課後児童クラブ多子世帯利用料補助

35,976千円

拡 特色ある幼児教育・保育の推進

18,663千円

○保育施設多子世帯負担軽減補助

51,773千円

○病児・緊急対応強化事業

8,700千円



参考 無償化による負担軽減額
17億8,454万円

(2) 教育の充実

・子どもたちの未来と可能性が広がるまちを目指し、ICT機器を活用した新たな学びの充実、読解力の向上と読書週間の定着に向けた図書への充実、不登校児童生徒の支援体制の拡充、安全安心な学校施設の改修など、子どもたちの健やかな成長と学びを支えます。

学校教育の充実

拡 福島型オンライン授業

ICT機器を活用した新たな学びを日常的に授業に取り入れ、最大限に生かせる環境を作ります。



428,513千円

新 読解力向上推進事業

リーディングスキルテストを実施し、結果を踏まえた調査研究を通じて、児童生徒の読解力向上を目指します。

3,930千円

新 中学生ドリームチャレンジモデル事業

福島型の特色ある教育を目指すため、「キャリア教育部門」と「部活動部門」のモデル事業を実施します。

7,000千円

新 ふくしまっ子未来トーク開催事業

353千円

○ 頑張るふくしまっ子復興夢応援基金事業

2,000千円

○ 中学生ドリームアップ事業

10,156千円

拡 いじめ・不登校防止対策推進事業

5,313千円

○ 語学指導を行う外国青年招致事業

102,756千円

○ 学力向上サポート事業

11,736千円

(一斉学習)



(個別学習)



(協働学習)



(家庭学習支援)



(遠隔学習)



出典：文部科学省ホームページ(<https://www.mext.go.jp>)「教育の情報化に関する手引き-追補版-(令和2年6月)を加工して作成

学びの環境の充実

拡 小中学校屋内運動場改築事業 (4校)

598,560千円
(うち3月補正前倒し376,660)

拡 松陵中学校校舎等改築事業

126,000千円

拡 学校施設長寿命化事業

学校施設の改修をスピードアップします。

210,000千円

拡 ふくしま支援学校校舎等改築事業

877,858千円
(うち3月補正前倒し804,240)

○ 学校トイレ洋式化事業

195,100千円
(全額3月補正前倒し)

拡 学校図書館図書整備事業

17,300千円

拡 特別支援教育推進事業

156,051千円

3.『エール』遺産を活用した『古関裕而』のまちづくり

7事業 1億3,427万円

古関裕而のまちづくり

- ・昨年放送された連続テレビ小説「エール」の遺産を活用しながら、官民一体で「古関裕而」のまちづくりを推進します。
- ・新たな文化イベントや街なかの仕掛け、さらには古関裕而氏の野球殿堂入りも目指します。

新 古関裕而ゆかりのまちサミット開催

15,000千円

福島市、愛知県豊橋市、長崎市、川俣町など古関氏ゆかりの自治体によるサミットを開催。首長討論、エール出演者によるトークショーなど、新たなまちづくり交流への取組を進めます。



音楽堂&まちなかで古関メロディ

○「古関裕而記念音楽祭2021」の開催

20,000千円

連続テレビ小説「エール」の出演者やプロの演奏家を招いて、鑑賞型の音楽祭を「ふくしん夢の音楽堂」で開催します。



まちなかで、市民参加型の古関メロディーイベントを開催し、市民の皆様と音楽を奏で、まちなかを古関メロディーで満たします。

○古関裕而メロディーバス運行事業

18,963千円

「移動音楽館」をコンセプトに、内装には県産木材を使用し温かみのある空間を演出して、古関メロディーとともに皆さまをお出迎えます。



新 エールレガシー事業

42,180千円

連続テレビ小説『エール』をきっかけに認知された『古関裕而のまち福島市』。ロケ地だけでなく「自然景観」「温泉地」「フルーツ王国福島」としての魅力を継続して発信します。

① 被災3県朝ドラ連携プロジェクト

連続テレビ小説の舞台となった岩手、宮城、福島の被災3県の都市が合同で首都圏に情報発信拠点を設置。

首都圏在住者をターゲットに各地の観光PR、産品販売、移住案内を行い、ドラマの舞台地周遊促進やイメージアップを図ります。

② エールドラマセット展示

③ ロケ地マップ制作

④ まち歩きマップ制作・パンフレット類増刷

⑤ NHKドラマガイドへの広告掲載



拡 古関裕而のまちおもてなし事業

35,364千円

新 「古関裕而音楽コンクール(仮)」の創設

269千円

「古関裕而のまち・ふくしま」を全国に発信するため、古関氏の名前を冠した本市独自の音楽コンクールの創設に向けた取組をスタートします。

新 「古関裕而のまち・ふくしまチェンバーオーケストラ」の創設支援

2,500千円

4. 風格ある『県都ふくしま』

24事業 32億7,732万円

(1) オフィス移転、 移住定住推進パッケージ

・コロナ禍における地方へのオフィス移転の機運が高まっていることを踏まえ、交通アクセスの良い本市へのオフィス移転や家族を含めた移住支援を強化します。

新『ゆとり満喫福島オフィス』開設支援事業(再掲) 14,800千円

新クリエイティブビジネスサロン整備事業(再掲) 73,500千円
(全額3月補正前倒し)

移住定住推進パッケージ

新結婚新生活支援事業(再掲) 43,650千円
結婚に伴う経済的負担を軽減するため、新婚世帯のスタートアップを支援します。

○UIターン移住支援事業 12,900千円

○多世帯同居・近居支援事業 3,600千円

○出会いの場創出事業 2,759千円

拡新生活応援事業 5,947千円
湯めぐりパスポートの贈呈など

拡広報推進事業 5,000千円

拡空家等対策事業 21,819千円



(2) シティセールス

・福島市の魅力とまちづくりの方向性を効果的に発信し、本市のファン拡大と、関係人口の増加を目指します。

○福島市応援関係人口創出事業 8,200千円

首都圏における本市のファン拡大と関係人口の増加を図るため、本市ゆかりの首都圏在住者・経済人との交流を行います。

拡ふるさと納税促進事業 432,286千円

新たなまちづくりの方向性を全面的に打ち出し、賛同と共感を得ながら本市のファン拡大を図ります。



拡シティセールス推進事業 9,000千円



福島市の認知度向上とファン拡大を図るため、特設Webサイトの運営と、シティセールスの動画配信を実施します。

新オンライン配信ビジネス支援事業(再掲) 5,000千円

4. 風格ある『県都ふくしま』

(3) 中心市街地のまちづくりと公共施設の再編整備

・「風格ある県都を目指すまちづくり構想」に基づき、中心市街地のまちづくりを推進するとともに、公共施設の再編整備を進めます。

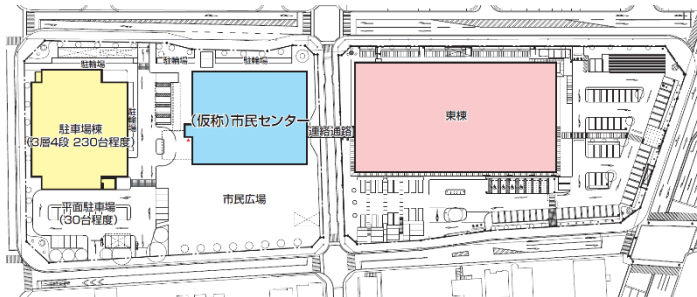
- 拡 福島駅東口地区市街地再開発事業 2,204,900千円
- 拡 福島駅前交流・集客拠点施設整備事業 20,259千円

事業の核となる福島駅東口の再開発事業を国・県とともに支援します。また、交流人口を拡大し中心市街地のにぎわい創出を図るため、公会堂・市民会館の再編による新たな交流・集客拠点施設整備について、再開発事業と連携して進めます。



- 拡 (仮称)市民センター整備事業 214,000千円

中央学習センター・市民会館・敬老センターの機能を複合化した「市民交流機能」のほか、「議会機能」、「防災機能」を備え整備します。



(4) 歴史・文化と次世代環境が調和したまちづくり

・本市の歴史と文化を活かした特色ある事業を展開し、次世代に残る快適な環境づくりを推進します。

- 新 文化振興条例の策定 500千円
- 新 ふくぶん(福島らしい文化)の発信 5,000千円
- 新 写真美術館リニューアルオープン 49,074千円

震災で被災し、休館していた写真美術館(花の写真館)が6月にリニューアルオープンします。リニューアル後は貸館機能も充実します。



- じょーもぴあ宮畑活用推進事業 10,241千円
- 拡 しゃがむ土偶ドキドキ事業 8,647千円

国重要文化財「しゃがむ土偶」の魅力を広く発信するため、各種イベントを開催するほか、動画の制作や販売用商品の開発を行います。



- 新 和台遺跡保存活用計画の策定 4,080千円
- 拡 『旧広瀬座』の再整備 36,586千円
- 拡 『民家園』の管理と活用 85,573千円

国指定重要文化財である旧広瀬座の保存と新たな施設利用の拡大を図るため、再整備に向けた実施設計を行います。

5. まちのにぎわいと魅力ある産業の創出

31事業 17億8,178万円

(1) 中心市街地の活性化

・中心市街地への交通手段の充実、商住環境の整備を行い、中心市街地の賑わい創出や交流人口の増加を図ります。

新 福島駅前にぎわい創出事業 91,700千円



1階出店のスーパーを家賃補助により支援し、2階多目的交流スペースでは、古関裕而関連の常設展や東京2020関連のイベント開催などにより福島駅前のにぎわいを創出します。

新 商店街エリア価値向上支援事業 9,000千円

拡 新まちなか広場整備事業 465,621千円

まちなかの賑わい・市民交流・回遊軸の拠点、さらには防災広場として、新まちなか広場を整備します。パセオ駐輪場にトイレと倉庫を整備し、リニューアルします。



新 福島駅周辺利便性向上検討 5,000千円

新 信夫山魅力向上推進事業 10,243千円

新 パークアンドライド実証実験 2,500千円

新 街なか空き店舗出店支援事業(再掲) 20,000千円

新 クリエイティブビジネスサロン整備事業(再掲) 73,500千円

(2) 『道の駅』整備

～^み実・^{わく}湧・^{まん}満・^{さい}彩の地域振興拠点～(仮称)道の駅ふくしま～の令和4年春の開業を目指し、整備を進めます。

拡 道の駅整備事業

拡 こども遊び場整備事業

689,197千円



(3) 商工業の振興

中小企業や新規創業者、立地企業を支援し、商工業の振興を図ります。

新 ものづくりNEXTチャレンジ支援事業(再掲) 10,000千円

医療機器・農産物加工・航空宇宙・ロボット分野など、製造業の新分野進出へのチャレンジを支援します。

新 クリエイティブチャレンジ支援事業 25,000千円

チャレンジ意欲の高い起業者を街なかの空き店舗へ誘導し、新規創業者を支援するとともに街なかの活性化を図ります。

○ 医産連携推進事業 20,041千円

拡 企業立地促進事業 11,210千円

○ 中小企業信用保証料補助事業 38,500千円

(4) 農林業の再生と振興への展開

- ・スイーツプレミアム事業の展開により、本市農産物の販売拡大とブランド力向上を図ります。
- ・農林業の振興及び農作物への被害対策を強化します。
- ・新規就農支援により、本市農業を担う人材確保に取り組みます。

拡 スイーツ・プレミアム事業 15,000千円

本市産農産物等を活用した魅力的なスイーツをブランド商品として認証し、ブランドマークを活用しながら認証品を積極的に広報します。



○農産物を活用した食品加工の産業化 3,116千円

拡 鳥獣被害対策強化事業 65,911千円

拡 新規就農支援パッケージ 40,286千円

拡 農業経営安定化支援事業 4,421千円

新 スマート農業推進事業 500千円

○福島大学食農学類との連携 2,420千円

拡 福島駅前軽トラ市開催 6,000千円



駅前通りで軽トラックやキッチンカーが軒を連ねた軽トラ市を開催し、市産農産物の消費拡大と風評払しょくを図ります。

○森林環境整備事業 21,090千円

(5) 観光対策の強化

- ・本市観光のシンボル『花観光』を推進するほか、連続テレビ小説「エール」に続く、新たな映画やテレビ等のロケ誘致を目指します。

拡 ふくしま花回廊推進事業 10,850千円

本市の観光のシンボルとして花観光を推進します。

- 福島市花観光振興計画の目標
- 1.花観光入込数 45万人
- 2.花観光スポットの満足度 90%



○春の花見山おもてなし事業 60,213千円

新 アフターコロナ訪日観光客受入環境整備事業 9,000千円

○フィルムロケ誘致支援事業 3,783千円

映画やテレビなど、「いい映像作品をつくりたい」という情熱に情熱をもってお応えし、ロケの誘致とロケツーリズムの促進を図ります。



○広域連携推進事業 25,251千円

○観光プロモーション事業 6,430千円

新 地域産業を活用した観光コンテンツ開発事業 15,000千円

○温泉地活性化事業 21,000千円



(1) 災害対策の強化

・防災情報の発信力強化や地域のコミュニティ形成、施設の災害対策を充実し、災害に強いまちづくりを進めます。

水害対策パッケージ

(主なもの) 503,325千円

拡 災害対策オペレーションシステムの本格運用

- 洪水ハザードマップ活用事業
- 地域防災力強化事業
- 災害時要援護者支援事業
- 災害時避難行動支援事業

拡 立地適正化推進事業

新 河川強靱化事業

新 ポンプ場等の耐水化計画策定

新 農業水路等長寿命化・防災減災事業



▲ 祇川に整備中の雨水貯留施設

新 避難所対策(再掲) 20,000千円

避難所における感染拡大防止のため、テント型パーティションやエアベッド、消毒液等を備蓄します。

新 障がい者に配慮した災害時支援事業 1,000千円

○ 建築物・住宅耐震改修促進事業 40,161千円

新 災害廃棄物処理計画策定事業 6,500千円

(2) 生活環境の整備

・地域や関係機関と連携し、市民が快適な生活を営み続けるための環境整備を行います。

拡 「ごみ減量大作戦」第3次展開

市民1人1日あたりのごみ排出量を890g以下にすることを目標に、「チャレンジごみ減量20%」のスローガンを掲げ、ごみ減量化・資源化を推進します。



22,001千円

拡 ムクドリ・カラス対策事業

○ 新最終処分場の整備

4,700千円

1,430,961千円

○ あぶくまクリーンセンター再整備

114,674千円

新 衛生処理場改修

695,880千円

新 消費者被害未然防止対策事業

2,037千円

ゼロカーボンシティを推進

○ 水素社会実現推進事業

300千円

拡 脱炭素住宅整備事業

補助対象に新たに蓄電池やHEMSを追加し、再生可能エネルギーの普及を目指します。



33,400千円

新 環境に配慮した公用車(エコカー)導入

8,202千円

市の公用車への電気自動車やハイブリッド車の導入を進めます。充電にはあらかじめクリーンセンターのバイオマス発電を利用します。

新 環境共生都市創出事業

787千円

(3) 除去土壌の現場保管解消

- ・生活圏森林・公共施設等の除去土壌を2021年度末までに仮置場に搬出し、国が示した2021年度末までの中間貯蔵施設への輸送完了を目指します。
- ・中間貯蔵施設への輸送が完了した仮置場等については、原状回復を行います。

○除去土壌搬出等推進事業 4,216,000千円

No	区分	目標時期	全体	搬出済	進捗率
1	住宅	令和2年度末	77,772 件	78,614 件	101.1 %
2	公共施設等	令和3年度末	1,750 件	1,083 件	61.9 %
3	生活圏森林等	令和3年度末	8,555 件	8,024 件	93.8 %

※1 全体:現場保管の箇所数(平成30年9月末時点での推計値) 令和3年1月末現在

(4) 消防力の充実強化

- ・消防力のさらなる充実強化と、自然災害時の対応力及び復旧力の向上を図ります。

- 福島消防署清水分署整備事業 279,092千円
- 消防車両更新事業 95,548千円
- 新** 救急ドッキングポイント連携事業 720千円
- 新** AEDサポート連携事業 200千円

(5) 地域医療の充実

- ・救急医療、医師確保対策など、市民医療体制の確保を図ります。

救急医療体制の充実

- 拡** 救急告示病院運営費補助事業 221,279千円

- 休日夜間輪番制救急医療体制確保事業 105,444千円

市民医療体制の確保と、地域医療の充実強化を図るため、市内救急告示病院等で、夜間、土曜日の午後、日・祝日及び年末年始の日中における二次救急医療体制を確保するための費用を補助します。

- 拡** 福島県立医科大学との連携(寄附講座) 63,000千円



市内の二次救急医療機関に福島県立医科大学の医師を派遣し、当直医の確保と臨床研修の実施により、地域救急医療体制の基盤強化を図ります。

- 拡** 夜間急病診療所運営 221,551千円



夜間における入院や手術を必要としない急病に対応するため、内科、外科、小児科の夜間急病診療所を午後7時から翌朝7時30分まで(小児科は午後10時まで)開設します。(上町テラス2F)

- 拡** 休日救急歯科診療所運営 32,270千円

- 休日在宅当番医確保事業 5,293千円

- 医師・看護師確保事業 9,174千円

- 臨床研修支援事業 2,744千円

7. オリンピック・パラリンピックと遺産の創出

17事業 13億7,149万円

(1) 東京2020大会開催関連事業

- ・復興五輪として開催される東京2020大会にオール福島で取り組み、大会の成功を目指します。
- ・福島あづま球場での競技開催に合わせ、来福される方へのおもてなしと復興支援の感謝や復興に取り組む本市の姿と魅力を発信します。

(主なもの)

拡 大会期間中のおもてなしイベント 95,513千円

- コミュニティライブサイトの運営
- パブリックビューイングの運営
- おもてなしイベントの開催



拡 大会用装飾とおもてなし事業 11,224千円

- シティドレッシング
- 花による大会PR・おもてなし
- おもてなしフェンス
- 2020ふくしま市民応援団
おもてなし推進事業



新 共生社会ホストタウンサミット開催 1,000千円

オリパラ担当大臣、国土交通大臣や共生社会ホストタウンの自治体の首長が集いサミットを開催し、共生社会の実現に向けた取組をさらに進めます。

拡 ホストタウン交流事業 6,389千円

- スイスパラリンピック選手との交流事業
- ベトナムオリンピック選手との交流事業
- ホストタウンフェスティバル
- 市内飲食店でのホストタウン料理の提供事業



拡 強化合宿の支援 16,184千円

本市で実施される代表選手の合宿を支援します。

(2) オリンピック・パラリンピックを契機としたまちづくり

『東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会』の開催を契機としたレガシーを創出します。

【拡】オリパラを契機とした健康づくり

- パラスポーツ振興事業
- 受動喫煙対策



6,241千円

【拡】賑わいのまちづくり

- オリパラ活用農産物PRイベント事業
- メディア向けファムツアーの実施

6,000千円

【拡】バリアフリー推進パッケージ (主なもの)

- バリアフリー推進事業
- ポッチャ普及促進事業
- 歩道点字シート設置事業
- バリアフリーマップ情報更新事業

49,573千円

【拡】多文化共生の推進

- 【新】第73回日米学生会議の開催
 - 外国人生活相談窓口の運営
 - 結・ゆい・フェスタ開催

7,398千円



令和3年8月 福島で開催

スポーツによるまちづくり

【拡】スポーツコミッション運営事業

スポーツ合宿や大会の受け入れやパラスポーツ推進に関するワンストップ窓口を運営し、官民連携による合宿誘致と受け入れ時のサポートを行います。

4,354千円

【拡】スポーツホームタウンにぎわい創出事業

福島ユナイテッドFCと連携し、子どもや大人を対象としたサッカー交流大会、パブリックビューイングなどを実施します。

15,000千円

【新】ふくしまアプリウォーク開催事業

1,263千円

【新】ふくしま健康マラソン大会リニューアル事業

1,300千円

【新】あづま陸上競技場魅力創出事業

650,000千円
(全額3月補正前倒し)



あづま陸上競技場の照明設備設置を県と共同で実施し、スポーツによる持続的なまちづくり・地域活性化を図る魅力的な施設を創出します。

【拡】中央市民プール整備事業

347,670千円

【拡】信夫ヶ丘競技場整備事業

97,386千円

【拡】信夫ヶ丘球場整備事業

55,000千円

8. いきいきと暮らせる共生社会の形成

13事業 49億8,518万円

(1) バリアフリーの推進

・子どもから高齢者、障がいのある人など、だれもが地域で安心して暮らせるよう、ハード面のバリアフリーとともに、心のバリアフリーにも取り組みます。

拡 バリアフリー推進パッケージ(再掲) 49,573千円
(主なもの)

- バリアフリー推進事業
- いきいき！ふくしマーケット事業
- 農福連携普及推進事業
- 手話言語条例関連事業
- 歩道点字シート設置事業
- バリアフリーマップ情報更新事業



▲歩道のバリアフリー化を進めます
(R3は、パセオ通りと県庁通り)

新 公共交通施設バリアフリー化支援事業 119,267千円
JR南福島駅にエレベーターを設置(2基)する費用の一部をJR東日本に助成します。

障がい者福祉の推進

- 障がい福祉サービス 4,422,309千円
- 自立支援医療費 283,014千円
- 新** 計画相談支援推進事業 12,000千円
- こども発達支援センター事業 65,113千円

(2) 多文化共生推進事業

・“市民一人ひとりがお互いに認め合う、多様性を尊重したまち”を目指し、外国のこども日本語サポート推進事業や国際交流事業など、外国人等との相互理解や円滑なコミュニケーションを実現するための事業を実施します。

○外国人生活相談事業(再掲) 4,898千円
英語、フランス語での相談員による対応のほか、対話型翻訳機で100以上の言語で生活相談に応じます。



○国際交流員配置事業 5,162千円

拡 外国のこども日本語サポート推進事業 2,800千円

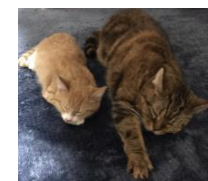
○結・ゆい・フェスタ事業(再掲) 2,000千円

○国際交流事業支援 2,000千円

新 第73回日米学生会議開催支援(再掲) 500千円

動物との共生

拡 動物愛護管理事業 16,548千円
猫の不妊去勢手術費用の助成拡充など、市民とペットが共生する社会の実現を目指します。



9. 人生100年時代を見据えた健康づくり

11事業 93億4,671万円

(1)『健都ふくしま』の創造

・「一人ひとりの健康を応援する環境づくり」「地域の健康づくり」「職場の健康づくり」を三本柱として、市民総ぐるみの健康づくりを推進します。

一人ひとりの健康を
応援する環境づくり

+

地域の健康づくり

+

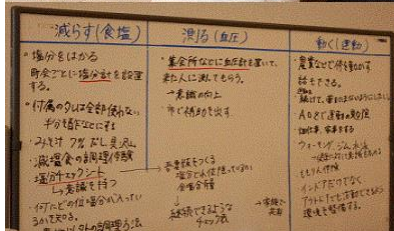
職場の健康づくり

● 健都ふくしま創造事業

21,414千円

(主なもの)

- 健都ふくしま創造市民会議の開催
- 健康づくりポイント事業
- 食育の推進
- 受動喫煙対策
- 「適しお」推進
- 歯と口腔の健康づくり
- 地域主体の健康づくり
(取り組みへのインセンティブ)
- 職場の健康づくり
- 生活習慣病重症化予防対策



▲健康な地域づくりを進める皆さん

○特定健康診査事業

254,529千円

○がん検診推進事業

681,313千円

早期発見のため、がん検診を実施するとともに、受診率向上を図るため、自己負担一部無料化や、ピンクリボンキャンペーンを推進します。

(2)『高齢者の元気』の創造

・高齢者の生きがいづくりや社会参加を支援する「湯ったりデイサービス」、「高齢者生涯活躍プロジェクト事業」を実施し、「高齢者の元気」を創造します。

● 高齢者生涯活躍プロジェクト事業

1,160千円

元気な高齢者が能力や経験を活かせるよう、就業体験等を実施します。

○高齢者元気アップ事業

2,203千円

○湯ったりデイサービス

20,000千円

○介護保険・

後期高齢者医療費負担

7,657,617千円

「介護予防の充実」

○いきいきももりん体操事業

2,753千円

○お口のももりん体操事業

565千円

○いきいきももりん体操伝道師養成
(高齢者元気アップ事業)

○地域包括支援センターの運営(22か所)

501,561千円

○路線バス等高齢者利用促進事業

203,604千円



(1)『共創』によるまちづくり

・これまでの「協働」の考えを進化させ、相手に響く情報の伝達と市民との直接対話により、市民とのコミュニケーションを図り、多様性と変化に対応した新しいステージに向け、市民総参加でのまちづくりに取り組みます。

新 共創のまちづくり推進費	2,039千円
○ふくしま元気トークの開催	456千円
○地域コミュニティ等支援事業	16,500千円
新 地域共生社会推進事業	33,964千円
新 二十歳のチャレンジプロジェクト事業	2,021千円

(2) 公共施設等総合管理計画の推進

拡 公共施設等長寿命化対策 道路・公園・文化施設・スポーツ施設など、公共施設の計画的な施設更新等を行い、安全で安心して利用できる環境整備を進めます。	1,044,270千円
拡 飯野支所・学習センター 統合リニューアル事業	277,900千円
拡 清水支所建設事業	179,700千円
拡 三河台学習センター整備事業	330,045千円




(3) ICT化の推進

・ICTを積極的に活用し、行政経営の効率化を図ります。
・変化を恐れず、改革改善にチャレンジします。

市民サービスの向上

・市民の利便性向上を図るため、ICTを積極的に活用し、デジタル社会に対応した市民サービスの提供を目指します。

拡 LINE推進事業		4,378千円
拡 マイナンバーカード取得促進事業		99,057千円
新 町内会区域GIS公開		2,900千円
新 公共施設予約システム導入(再掲)		78,409千円
新 窓口手数料のキャッシュレス化(再掲)		3,804千円

業務の効率化

拡 RPA推進事業	10,000千円
○AI-OCR推進事業	2,079千円
○次期基幹システムの構築	285,439千円
新 文書管理システムの導入(再掲)	48,800千円
○ひとり1改善運動「かえるチャレンジ」	0円

IV 将来にわたり持続可能な財政運営の推進（資料編）

1 財源の確保

健全な財政の維持と持続可能な財政構造の確立を図るとともに、社会情勢の変化や新たな地域の課題に対応した緊急度・優先度の高い事業に予算を振り向けるため、既存事業の見直しの徹底による財源の捻出や新たな自主財源の確保に努めました。

（1）事務事業の見直し

経常的な事務事業のこれまで以上の経費節減と見直しを行いました。

- 政策的判断を要しない経常的な経費は、昨年度に続き決算額をベースに所要額を見積もることを基本としました。
- 経常的に実施してきた事務事業にあっても政策的な要素を含むものについては、効率性や有効性、新たな基本計画上の位置づけなどの観点からゼロベースで見直しを行いました。

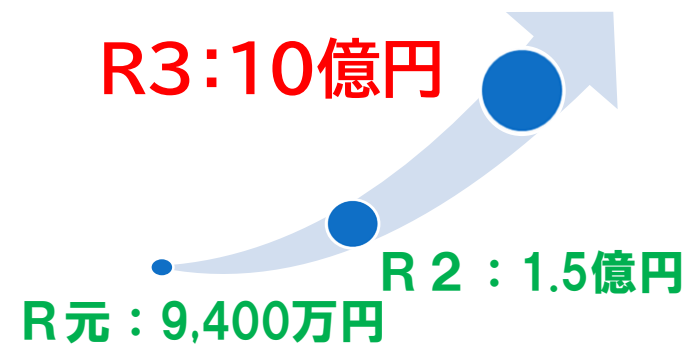
➡ 削減額 1億8,000万円余

（2）新たな自主財源の確保

○ ふるさと寄附金の拡大

市の施策の効果的なPRや市観光コンベンション協会と連携した話題性と魅力ある返礼品の開発により、引き続きふるさと寄付金の拡大を目指します。

➡ 予算額 10億円
（対前年度比 +8億5,000万円）



○ 広告料収入の拡大

市民課総合窓口に、広告表示を取り入れた番号案内表示を導入し、窓口サービスの円滑化を図るとともに、広告料収入を確保します。

➡ 収入額 300万円

○ ネーミングライツ収入の確保

福島体育館（NCVふくしまアリーナ）などの6施設に導入したネーミングライツにより引き続き収入を確保しました。

➡ 収入額 1,716万円

(3) 基金の活用

財政調整基金をはじめとする各種基金を有効に活用しました。

17基金 34億6,234万円

財政調整基金繰入金	2,100,000 千円
環境基金繰入金	646,077 千円
減債基金繰入金	300,255 千円
スポーツ振興基金繰入金	120,618 千円
子ども・子育て基金繰入金	72,240 千円
森林環境整備基金繰入金	52,590 千円
公共施設建設基金繰入金	47,050 千円
産業振興基金繰入金	41,898 千円
温泉地施設整備基金繰入金	21,000 千円
古閑裕而音楽賞基金繰入金	20,000 千円
文化施設整備基金繰入金	14,354 千円
その他6基金	26,255 千円
計	3,462,337 千円

主な基金の年度末現在高

(単位 千円)

	財政調整基金	減債基金
H29	7,237,962	2,755,538
H30	7,011,798	2,755,880
R元	6,560,845	2,756,250
R2	6,603,813	2,466,956
R3	4,505,134	2,167,195

2 一般会計当初予算額の推移

令和3年度一般会計当初予算額 1,123億円 (対前年度比 △47億円 △4.0%)

・うち除染関連事業費 42億円 (対前年度比 △61億円 △59.2%)

・うち除染関連事業費を除く額 1,081億円 (対前年度比 +14億円 +1.3%)

過去最大額

2,500 億円

2,000

1,500

1,000

500

0

H19

H20

H21

H22

H23

H24

H25

H26

H27

H28

H29

H30

H31

R2

R3

当初予算額	838	801	850	896	880	1,299	1,599	1,788	2,102	1,886	1,419	1,348	1,235	1,170	1,123
うち除染関連事業費						408	706	878	1,193	962	439	345	194	103	42
うち除染関連事業費を除いた額	838	801	850	896	880	891	893	910	909	923	980	1,003	1,041	1,067	1,081

一般会計の歳入は、新型コロナウイルス感染症の影響により市税が大きく落ち込む厳しい見通しとなっていますが、地方交付税等を適切に見込むとともに、国県の補助金、財政調整基金をはじめとする基金、交付税措置のある有利な市債などを積極的に活用し、歳入の確保に努めました。

(1) 主な歳入の状況

① 市税 360億円 (対前年度比 △38億円 △9.5%)

新型コロナウイルス感染症の影響などによる大幅な減収を見込んでいます。

- **市民税** 新型コロナウイルス感染症の影響による企業収益の悪化や給与所得の落ち込みによる減 (168億3,900万円 △9億9,100万円)
- **固定資産税** 新型コロナウイルス感染症対策による減免(家屋・償却資産)や土地の評価替え据え置きなどにより減 (139億200万円 △25億9,600万円)

② 地方交付税 87億円 (対前年度比 △39億円 △31.0%)

- **普通交付税** 国勢調査人口の減少や臨時財政対策債への振替額の増加による減 (72億円 △20億円)
- **震災復興特別交付税** 復興枠での国補助メニューの減少などを反映した減 (5億円 △19億円)

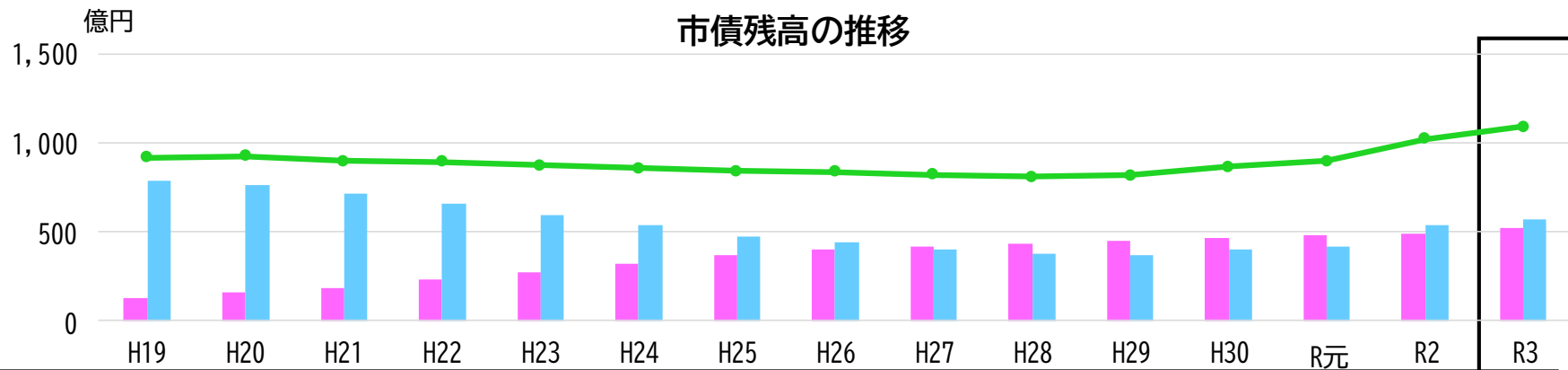
③ 市債 148億2,010万円 (対前年度比 +26億6,780万円 +22.0%)

- **臨時財政対策債** 市税の減収などによる普通交付税算定上の財源不足額の増加と、国の地方財政計画における臨時財政対策債の伸びによる増
(67億円 +27億円)
- **事業充当の市債** 福島駅東口再開発事業や新最終処分場整備事業の進捗、衛生処理場整備事業への着手によるほか、既存施設の長寿命化や災害対策への重点的な取り組みによる増
(81億2,010万円 △3,220万円)

(2) 市債残高の状況

市債の令和3年度末残高は、前年度末より68億円増の1,088億円となる見込みです。

なお、市債の発行は交付税措置のある有利な起債を基本としており、元利償還金の100%が地方交付税措置される臨時財政対策債が、市債残高の約半分(47.7%)を占めています。



年度末市債残高	917	923	895	892	872	857	840	837	820	810	816	863	896	1,020	1,088
うち臨時財政対策債	130	157	185	234	276	322	365	397	420	433	447	465	477	486	519
うち実質的な市債	787	766	711	658	597	535	475	440	400	377	369	398	419	534	569

(3) 科目別歳入予算

- 26 -

(単位 千円、%)

款	令和3年度		令和2年度		増 △ 減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	増減率
1 市税	36,000,000	32.1	39,800,000	34.0	△ 3,800,000	△ 9.5
2 地方譲与税	1,016,352	0.9	1,070,352	0.9	△ 54,000	△ 5.0
3 利子割交付金	26,000	0.0	30,000	0.0	△ 4,000	△ 13.3
4 配当割交付金	88,000	0.1	110,000	0.1	△ 22,000	△ 20.0
5 株式等譲渡所得割交付金	56,000	0.0	56,000	0.0	-	0.0
6 法人事業税交付金	480,000	0.4	340,000	0.3	140,000	41.2
7 地方消費税交付金	6,520,000	5.8	6,922,000	5.9	△ 402,000	△ 5.8
8 ゴルフ場利用税交付金	5,000	0.0	5,000	0.0	-	0.0
9 環境性能割交付金	66,000	0.1	90,000	0.1	△ 24,000	△ 26.7
10 国有提供施設等所在市町村助成交付金	1,967	0.0	1,967	0.0	-	0.0
11 地方特例交付金	2,644,000	2.4	216,000	0.2	2,428,000	1,124.1
12 地方交付税	8,700,000	7.7	12,600,000	10.8	△ 3,900,000	△ 31.0
13 交通安全対策特別交付金	41,000	0.0	36,000	0.0	5,000	13.9
14 分担金及び負担金	605,472	0.5	616,007	0.5	△ 10,535	△ 1.7
15 使用料及び手数料	1,569,537	1.4	1,642,179	1.4	△ 72,642	△ 4.4
16 国庫支出金	19,396,105	17.3	17,355,740	14.8	2,040,365	11.8
17 県支出金	12,605,150	11.2	17,661,641	15.1	△ 5,056,491	△ 28.6
18 財産収入	180,134	0.2	206,118	0.2	△ 25,984	△ 12.6
19 寄附金	1,271,617	1.1	424,380	0.4	847,237	199.6
20 繰入金	3,463,337	3.1	2,533,937	2.2	929,400	36.7
21 繰越金	1	0.0	1	0.0	-	0.0
22 諸収入	2,744,228	2.5	3,130,378	2.7	△ 386,150	△ 12.3
23 市債	14,820,100	13.2	12,152,300	10.4	2,667,800	22.0
合 計	112,300,000	100.0	117,000,000	100.0	△ 4,700,000	△ 4.0

(4) 自主財源と依存財源の内訳

除染関連事業の財源4,216,000千円を除いた場合(単位 千円、%)

区 分	令和3年度			令和2年度		増 △ 減	
	予算額	構成比		予算額	構成比	予算額	増減率
			除染事業除き				
自主財源							
市税	36,000,000	32.1	33.3	39,800,000	34.0	△ 3,800,000	△ 9.5
分担金及び負担金	605,472	0.5	0.6	616,007	0.5	△ 10,535	△ 1.7
使用料及び手数料	1,569,537	1.4	1.5	1,642,179	1.4	△ 72,642	△ 4.4
財産収入	180,134	0.2	0.2	206,118	0.2	△ 25,984	△ 12.6
寄附金	1,005,817	0.9	0.9	156,280	0.1	849,537	543.6
繰入金	3,463,337	3.1	3.2	2,533,937	2.2	929,400	36.7
繰越金	1	0.0	0.0	1	0.0	-	0.0
諸収入	2,597,277	2.3	2.4	3,083,162	2.7	△ 485,885	△ 15.8
小 計	45,421,575	40.5	42.1	48,037,684	41.1	△ 2,616,109	△ 5.4
依存財源							
地方譲与税	1,016,352	0.9	0.9	1,070,352	0.9	△ 54,000	△ 5.0
利子割交付金	26,000	0.0	0.0	30,000	0.0	△ 4,000	△ 13.3
配当割交付金	88,000	0.1	0.1	110,000	0.1	△ 22,000	△ 20.0
株式等譲渡所得割交付金	56,000	0.1	0.1	56,000	0.1	-	0.0
法人事業税交付金	480,000	0.4	0.4	340,000	0.3	140,000	41.2
地方消費税交付金	6,520,000	5.8	6.0	6,922,000	5.9	△ 402,000	△ 5.8
ゴルフ場利用税交付金	5,000	0.0	0.0	5,000	0.0	-	0.0
環境性能割交付金	66,000	0.1	0.1	90,000	0.1	△ 24,000	△ 26.7
国有提供施設等所在市町村助成交付金	1,967	0.0	0.0	1,967	0.0	-	0.0
地方特例交付金	2,644,000	2.4	2.5	216,000	0.2	2,428,000	1124.1
地方交付税	8,700,000	7.7	8.0	12,600,000	10.8	△ 3,900,000	△ 31.0
交通安全対策特別交付金	41,000	0.0	0.0	36,000	0.0	5,000	13.9
国庫支出金	19,396,105	17.3	17.9	17,355,740	14.8	2,040,365	11.8
県支出金	12,605,150	11.2	7.8	17,661,641	15.1	△ 5,056,491	△ 28.6
寄附金	265,800	0.2	0.3	268,100	0.2	△ 2,300	△ 0.9
諸収入	146,951	0.1	0.1	47,216	0.0	99,735	211.2
市債	14,820,100	13.2	13.7	12,152,300	10.4	2,667,800	22.0
小 計	66,878,425	59.5	57.9	68,962,316	58.9	△ 2,083,891	△ 3.0
合 計	112,300,000	100.0	100.0	117,000,000	100.0	△ 4,700,000	△ 4.0

一般会計歳出予算は、前年度と比較し47億円（4.0%）の減となっておりますが、これは主に除染関連事業が進捗し、災害復旧費が56億円の減となったことによるものです。

除染関連事業費を除くと14億円の増となっており、福島駅東口地区市街地再開発事業（22.0億円）や、新まちなか広場整備事業（4.7億円）の進捗による土木費の増、障がい福祉サービスの増（対前年比:約6億円増）による民生費の増がその主な要因となっております。

（1）科目別歳出予算と主な増減理由

款	令和3年度		令和2年度		増 △ 減		主な増減理由
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	増減率	
1 議会費	657,484	0.6	652,019	0.6	5,465	0.8	
2 総務費	11,198,369	10.0	10,137,955	8.7	1,060,414	10.5	2 総務費 ふるさと納税促進事業費の増 飯野支所庁舎複合化整備事業費の増
3 民生費	42,065,726	37.4	40,124,461	34.3	1,941,265	4.8	3 民生費 高齢者福祉施設整備費補助金の増 児童発達支援事業費の増
4 衛生費	11,119,570	9.9	11,833,587	10.1	△ 714,017	△ 6.0	6 農林水産業費
5 労働費	108,695	0.1	120,057	0.1	△ 11,362	△ 9.5	ため池等放射性物質対策事業費の皆減 放射性物質吸収抑制対策事業費の減
6 農林水産業費	2,072,231	1.8	3,229,857	2.8	△ 1,157,626	△ 35.8	7 商工費
7 商工費	3,852,872	3.4	5,178,507	4.4	△ 1,325,635	△ 25.6	地域振興施設「道の駅」整備事業費の減
8 土木費	13,210,114	11.8	10,524,649	9.0	2,685,465	25.5	8 土木費
9 消防費	3,341,766	3.0	3,832,915	3.3	△ 491,149	△ 12.8	福島駅東口地区市街地再開発事業費の増 新まちなか広場整備事業費の増
10 教育費	11,638,603	10.4	13,036,017	11.1	△ 1,397,414	△ 10.7	10 教育費
11 災害復旧費	4,266,000	3.8	9,836,000	8.4	△ 5,570,000	△ 56.6	福島養護学校校舎等改築事業費の減 渡利学習センター整備事業費の皆減
12 公債費	8,468,570	7.5	8,193,976	7.0	274,594	3.4	11 災害復旧費
13 予備費	300,000	0.3	300,000	0.2	-	0.0	除去土壌搬出等推進事業費の減
合 計	112,300,000	100.0	117,000,000	100.0	△ 4,700,000	△ 4.0	

(2) 性質別歳出予算と主な増減理由

(単位 千円、%)

性 質 別	令和3年度		令和2年度		増 △ 減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	増減率
義務的経費						
人件費	19,401,757	17.3	19,328,402	16.5	73,355	0.4
扶助費	25,973,839	23.1	25,235,634	21.6	738,205	2.9
公債費	8,472,637	7.5	8,198,047	7.0	274,590	3.3
小 計	53,848,233	47.9	52,762,083	45.1	1,086,150	2.1
消費的経費						
物件費	18,138,997	16.2	17,529,929	15.0	609,068	3.5
維持補修費	1,693,774	1.5	1,723,184	1.5	△ 29,410	△ 1.7
補助費等	8,648,199	7.7	8,396,588	7.2	251,611	3.0
小 計	28,480,970	25.4	27,649,701	23.7	831,269	3.0
投資的経費						
普通建設事業費(補助)	9,534,997	8.5	9,984,611	8.5	△ 449,614	△ 4.5
普通建設事業費(単独)	4,969,310	4.4	5,167,868	4.4	△ 198,558	△ 3.8
小 計	14,504,307	12.9	15,152,479	12.9	△ 648,172	△ 4.3
災害復旧費						
災害復旧費(補助)	4,216,000	3.7	9,836,000	8.4	△ 5,620,000	△ 57.1
災害復旧費(単独)	67,479	0.1	18,009	0.0	49,470	274.7
小 計	4,283,479	3.8	9,854,009	8.4	△ 5,570,530	△ 56.5
その他						
積立金	62,870	0.1	436,181	0.4	△ 373,311	△ 85.6
投資及び出資金	100	0.0	100	0.0	-	0.0
貸付金	1,128,240	1.0	1,368,371	1.2	△ 240,131	△ 17.5
繰出金	9,691,801	8.6	9,477,076	8.1	214,725	2.3
予備費	300,000	0.3	300,000	0.2	-	0.0
小 計	11,183,011	10.0	11,581,728	9.9	△ 398,717	△ 3.4
合 計	112,300,000	100.0	117,000,000	100.0	△ 4,700,000	△ 4.0

主な増減理由

扶助費

児童発達支援事業費の増
生活保護扶助費の増

公債費

長期債償還元金の増

物件費

ふるさと納税促進事業費の増
ICT教育フューチャージョン推進事業費の増

補助費等

地域公共交通支援事業費の増
緊急経済対策資金融資制度利子補給
事業費の増

普通建設費

福島養護学校校舎等改築事業費の減
地域振興施設「道の駅」整備事業費の減
新最終処分場整備事業費の減
福島駅東口地区市街地再開発事業費の増

災害復旧費

除去土壌搬出等推進事業費の減

積立金

農山村地域復興基盤総合整備事業交
付金基金積立金の皆減

貸付金

中小企業振興預託金の減

繰出金

介護保険事業費特別会計繰出金の増

(3) 地方消費税交付金（社会保障財源分）が充てられる社会保障施策経費

地方消費税の税率引き上げ分の税収は、年金・医療・介護・少子化対策をはじめとする社会保障施策に要する経費に充てることとされています。

本市の令和3年度歳入における地方消費税交付金のうち、社会保障財源分は約33.7億円を見込んでおり、この収入は下記の社会保障施策の一般財源に充てております。

(単位 千円)

事業名	予算額	財源内訳		
		特定財源	一般財源	
社会福祉費	社会福祉総務費	834,653	34,961	799,692
	国民健康保険事業費特別会計繰出金	1,852,724	833,128	1,019,596
	障害者福祉費	6,436,297	4,421,286	2,015,011
	老人福祉費	1,495,922	629,572	866,350
	介護保険費	4,295,023	246,424	4,048,599
	後期高齢者医療費	3,362,594	485,212	2,877,382
	小計	18,277,213	6,650,583	11,626,630
児童福祉費	児童福祉総務費	1,930,761	805,391	1,125,370
	児童措置費	16,428,773	10,710,914	5,717,859
	児童福祉施設費	226,765	84,620	142,145
	小計	18,586,299	11,600,925	6,985,374
生活保護費	生活保護総務費	340,542	49,601	290,941
	扶助費	4,807,320	3,605,490	1,201,830
	小計	5,147,862	3,655,091	1,492,771
保健衛生費	保健衛生総務費	764,636	9,854	754,782
	保健所費	920,247	121,175	799,072
	保健指導費	623,642	149,786	473,856
	健康増進費	900,875	144,249	756,626
	予防費	786,869	16,593	770,276
	小計	3,996,269	441,657	3,554,612
幼稚園費	幼稚園費	436,165	40,564	395,601
合計	46,443,808	22,388,820	24,054,988	

(1) 会計別予算額

(単位 千円、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	増△減	
			増減額	増減率
一般会計	112,300,000	117,000,000	△ 4,700,000	△ 4.0
特別会計				
1 国民健康保険事業費	23,325,384	23,404,431	△ 79,047	△ 0.3
2 飯坂町財産区	96,957	105,753	△ 8,796	△ 8.3
3 公設地方卸売市場事業費	283,703	212,325	71,378	33.6
4 土地区画整理事業費	29,386	78,828	△ 49,442	△ 62.7
5 介護保険事業費	27,572,327	27,177,867	394,460	1.5
6 庁舎整備基金運用	1,001,000	1,001,500	△ 500	0.0
7 後期高齢者医療事業費	3,665,859	3,740,514	△ 74,655	△ 2.0
8 青木財産区	1,854	1,854	0	0.0
9 工業団地整備事業費	122,288	4,598	117,690	2,559.6
10 母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	13,909	13,592	317	2.3
小計	56,112,667	55,741,262	371,405	0.7
事業会計				
1 水道事業	10,471,515	11,249,611	△ 778,096	△ 6.9
2 下水道事業	12,840,855	12,503,387	337,468	2.7
3 農業集落排水事業	283,858	287,253	△ 3,395	△ 1.2
小計	23,596,228	24,040,251	△ 444,023	△ 1.8
合計	192,008,895	196,781,513	△ 4,772,618	△ 2.4

特別会計の主な増減理由

1 国民健康保険事業

一般被保険者療養給付費の減

3 公設地方卸売市場事業費

市場施設再整備計画事業費の増

4 土地区画整理事業費

福島北土地区画整理事業費における長期債償還元金の減

5 介護保険事業費

介護サービス等給付費の増
認定調査等費の増
高額介護サービス等費の増

7 後期高齢者医療事業費

後期高齢者医療保険料納付金の減

9 工業団地整備事業費

工業団地整備事業費の増
第2期工業団地整備事業費の皆増

① 水道事業会計

■ 予算額

(単位 千円)

区分	令和3年度	令和2年度	増△減	
			増減額	増減率
収益的収入	7,723,649	7,835,835	△ 112,186	△ 1.4%
収益的支出	7,215,118	7,264,122	△ 49,004	△ 0.7%
資本的収入	1,108,305	1,458,136	△ 349,831	△ 24.0%
資本的支出	3,256,397	3,985,489	△ 729,092	△ 18.3%
支出合計	10,471,515	11,249,611	△ 778,096	△ 6.9%

■ 主な事業

(単位 千円)

ふくしま水道事業ビジョン 4つの基本方針	予算額	説明
1 安全でおいしい水の供給	174,672	水質管理を徹底し、いつでも良質で安全なおいしい水を供給できる水道を目指します。 ①水安全計画に基づく水質管理 等
2 災害に強い水道の構築	1,978,131	適切な施設管理と維持管理の強化に努め相互応援体制の確立を図り、災害に強い水道を目指します。 ①水道施設情報管理システム本格稼働 ②A Iを用いた水道管路劣化診断業務委託 ③老朽管更新事業 ④水道施設耐震化事業 ⑤災害対策の強化 等
3 持続可能な水道経営	964,009	お客さまニーズの把握と健全経営に努め、持続可能な水道経営を目指します。 ①有収率向上対策の強化 ②遊休施設の整理推進 ③上水道加入促進策 ④ペットボトル「ふくしまの水」の製造・販売 等
4 地球にやさしい水道へ挑戦	2,266	良質な水道水の源となる水源を今後も保護しながら、自然環境への負荷低減を目指します。 ①水源保全活動団体への助成

② 下水道事業会計

■ 予算額

(単位 千円)

区分	令和3年度	令和2年度	増△減	
			増減額	増減率
収益的収入	7,382,664	7,518,423	△ 135,759	△ 1.8%
収益的支出	6,789,168	6,871,270	△ 82,102	△ 1.2%
資本的収入	3,347,032	2,719,885	627,147	23.1%
資本的支出	6,051,687	5,632,117	419,570	7.4%
支出合計	12,840,855	12,503,387	337,468	2.7%

■ 主な事業

(単位 千円)

事業名	予算額	説明
1 管路建設事業	1,208,831	未普及地区の下水道整備（施工延長L=4,154m）を実施します。
2 ポンプ場等耐水化事業	25,000	河川氾濫等の災害時における下水道機能への影響を最小限に抑えるため、下水道施設の耐水化計画を策定します。
3 マンホールポンプ等更新事業	50,000	マンホールポンプの更新工事とポンプの不具合等を伝達する通報装置の更新工事を実施します。
4 阿武隈川上流流域下水道建設事業	118,333	県が実施する流域下水道整備事業に対し、事業費の一部を負担します。
5 水洗化普及対策事業	6,043	未水洗化世帯に対する下水道接続指導及び排水設備設置資金の融資に対する利子補給を実施します。
6 下水道ストックマネジメント事業 【3月補正前倒し分】	(85,000)	将来的に発生する下水道施設の改築・更新費の平準化を図るため、下水道施設の計画的な点検・調査及び修繕・改築計画を策定します。 ※すべて3月補正に前倒しします。

③ 農業集落排水事業会計

■ 予算額

(単位 千円)

区分	令和3年度	令和2年度	増△減	
			増減額	増減率
収益的収入	156,677	161,276	△ 4,599	△ 2.9%
収益的支出	156,677	161,276	△ 4,599	△ 2.9%
資本的収入	68,060	65,194	2,866	4.4%
資本的支出	127,181	125,977	1,204	1.0%
支出合計	283,858	287,253	△ 3,395	△ 1.2%

